

広島大学大学院
放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム
平成 27 年度第 1 回
放射能社会復興コースセミナーを開催しました

平成 28 年 2 月 2 日に広島大学大学院社会科学研究所の戸田常一教授を講師として、平成 27 年度第 1 回放射能社会復興コースセミナー「広島市の戦後復興を振り返る ―都市と交通の基盤再建を中心として―」を開催しました。

本セミナーは、プログラムの授業科目等を広島大学内へ公開することにより、本プログラムの取組みを広く周知し理解を深めてもらうことを目的として開催しています。

会場にはプログラム履修学生を含めて約 15 名が参加し活気にあふれたセミナーとなりました。

講演では、広島における原子爆弾投下後の復興の過程として、特に太田川放水路事業、幹線道路事業、復興土地区画整備事業といった第 1 次復旧・復興事業について、そして、広島の都市拡大事業である再開発事業や河川緑地化事業、沿岸部・港湾整備、バイパス道路や高速道路の整備、空港整備等の第 2 次開発事業について理解を深めることが出来ました。

最後に、「広島の復興の経験を福島復興にどのように活かすか」についてディスカッションが行われ、参加者にとって非常に充実したセミナーとなりました。



講演の様子